

頑張る地方応援プログラム

プロジェクト名	えたしま交流・定住促進プロジェクト
<p>プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目標</p>	<p>(目的、概要)</p> <p>「住んでよかった、行ってみたいまち江田島」へとつながる交流・定住のまちづくりを展開する。</p> <p>団塊世代の大量の定年退職が見込まれる中、「のんびりと田舎暮らしをしてみたい」という社会的ニーズが高まっている。</p> <p>このため、本市への交流・定住人口の拡大に向け、地域・民間・行政等が連携し、各種定住施策を実施する。</p> <p>1 交流 観光事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の観光施設を利用した新たな観光ルートの創設 ・ 既存施設を利用した、「にぎわい(交流)場所」の検討 ・ ロングステイ型観光の促進 <p>2 交流・定住情報の受発信(広報紙、パンフレット、ホームページ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家物件の発掘と紹介組織の創設 ・ 利用できる荒廃・遊休農地の紹介 ・ 既移住者グループからの情報提供 ・ 移住者への就職(活動)情報の提供 ・ 県人会や在京出身者の協力による「ふるさと回帰」希望者への情報提供 <p>3 モデルプランの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流・定住ニーズの分析・把握、対応策を調査・検討するためのワーキング会議(仮称)の立ち上げ ・ 継続性を勘案した本市独自の交流・定住モデルプランの策定 <p>4 住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の民間、市営住宅のあり方を調査・検討し、定住プランを考慮した住宅マスタープランの策定 ・ 移住したシニア層が安心して暮らすための市営住宅の改良・改修 <p>(具体的な成果目標)</p> <p>1 定住(交流)人口の拡大を図り、現在の人口減少率(H12～H17)7.2%の低減を図る。</p> <p>2 隣接の呉市が設置した呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)の効果もあり、平成17年度の観光客数は708,686人と高水準であった。平成18年度の観光客数は703,779人(対前年 4,907人)と若干の減少が見られたが、新たな観光施</p>

	策の展開により,平成 18 年度の高水準を維持していく。		
プロジェクトの期間	平成 19~21 年度	政策分野の分類 (~)	定住促進プロジェクト
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	全体事業費 (H19 年度事業費)	
交流・定住促進事業	ワーキング会議(仮称)の開催		
	交流・定住情報の受発信	17,780	
	広島県交流定住促進協議会との連携	(7,780)	
	暮らし体験型観光促進事業		
定住支援住宅整備・ 活用事業	住宅マスタープラン策定 (H19 年度)	5,000	
	市営住宅補修・バリアフリー化等	(3,000)	
総計		22,780 (10,780)	
その他の特記事項			